

資料3 市民意識調査結果

1 アンケート調査の概要

江田島市都市計画マスタープラン及び江田島市緑の基本計画の策定について、都市づくりに関する市民ニーズを反映した計画を策定するため、アンケート調査を実施しました。

表 アンケート調査の概要

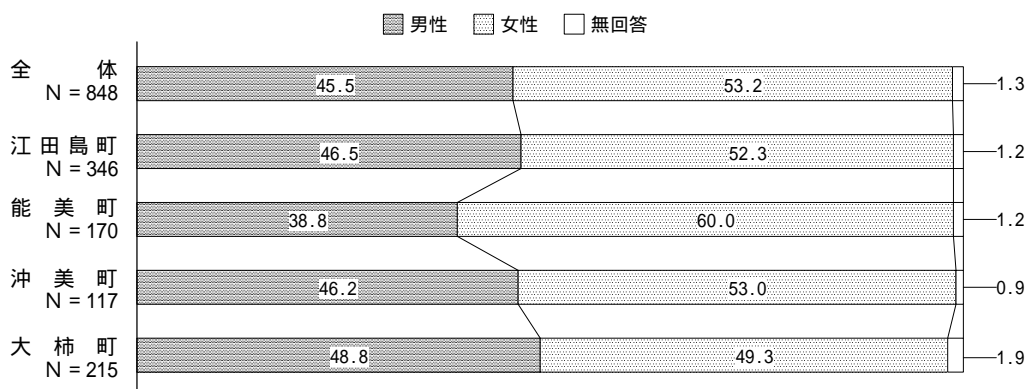
| 項目 | 概要 |
|-------------|--|
| 調査内容 | ・回答者の属性，都市環境に対する評価，江田島市全体の都市づくりに関する意向，地域のまちづくりに関する意向など |
| 調査対象者 | ・市内に居住する20歳以上の市民から無作為に抽出した約 2,000人 |
| 調査方法 | ・郵送配布・回収 |
| 調査期間 | ・平成21(2009)年11月9日～同年11月20日 |
| 調査の配布・回収の状況 | ・配布件数：1,992件，有効回収数：848件，有効回収率：42.6% |

2 調査結果

(1) 回答者の属性

回答者の性別割合は、男性約46%、女性約53%で、女性の割合が高くなっています。

図 回答者の性別

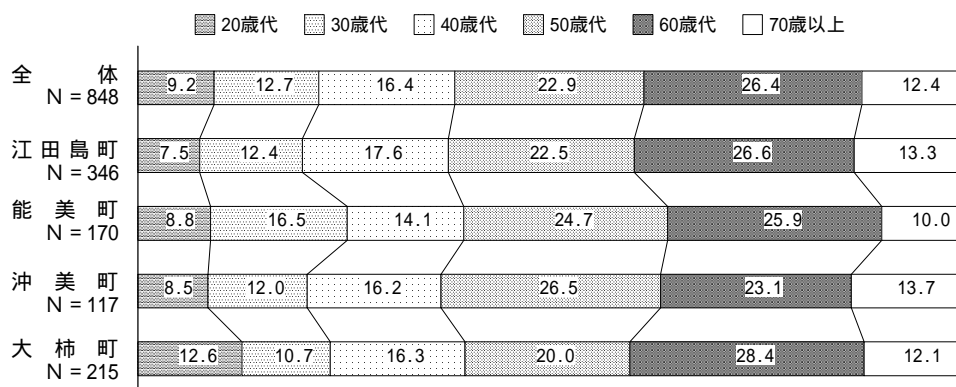


注-1：Nは有効回答者数，図中数値は割合(%)を示す。(以下同様)

-2：割合は，小数点2位以下を四捨五入しているため，合計が100%にならない場合がある。(以下同様)

回答者の年齢別割合は、60歳代が約26%で最も高く、次いで50歳代約23%、40歳代約16%、30歳代約13%、70歳以上約12%、20歳代約9%の順となっています。

図 回答者の年齢



(2) 都市環境の現状に対する評価

ア 都市環境の現状に対する不満率

都市環境の現状について、「不満」又は「多少不満」と答えた人の割合（以下「不満率」といいます。）は、全体では、「歩行時の安全性」「通院の利便性」「高速船・フェリーの利便性」について70%以上と特に高くなっています。

不満率が70%以上の項目を地域別にみると、次のとおりです。

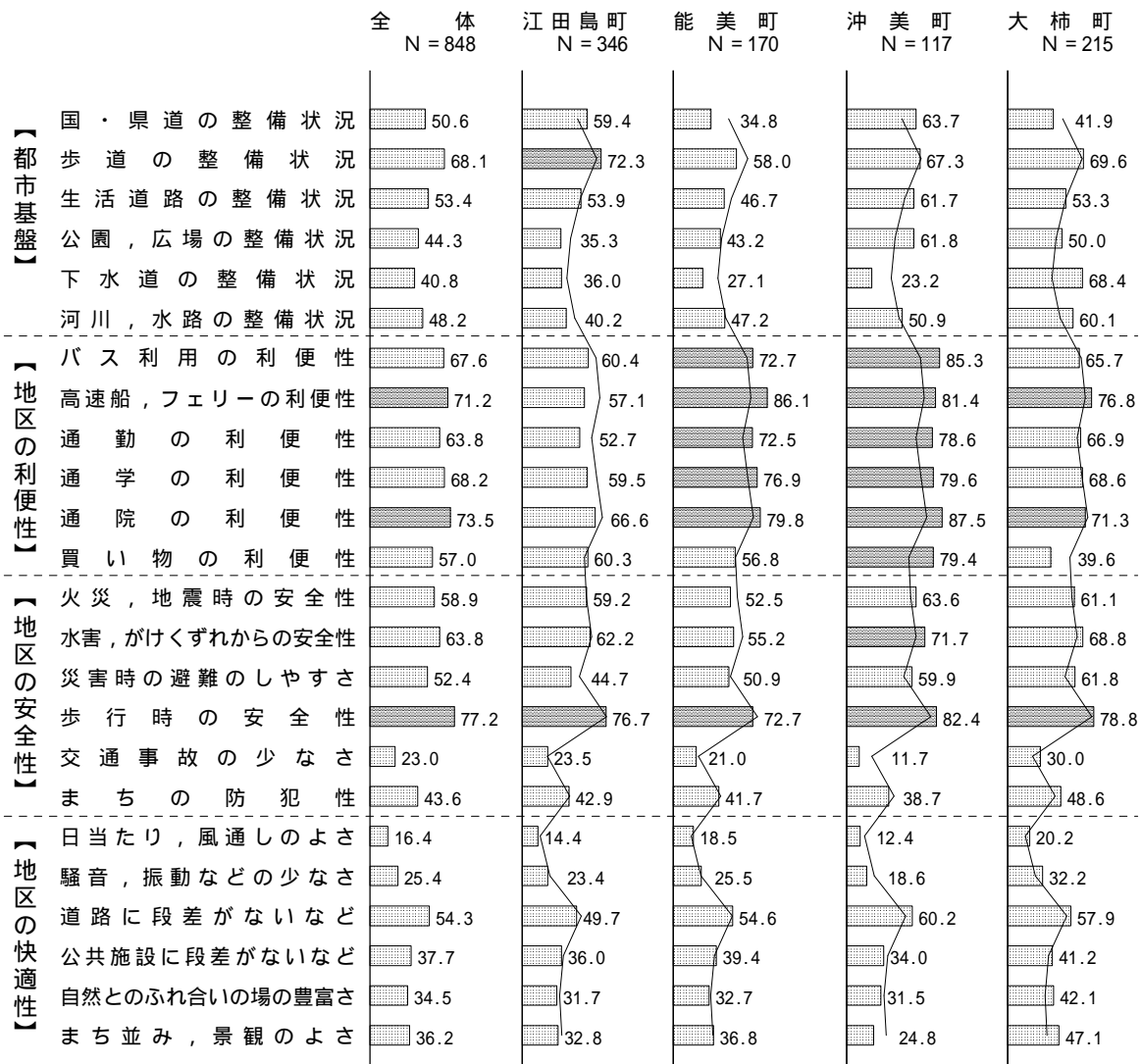
江田島町：歩道の整備状況，歩行時の安全性

能美町：バス利用の利便性，高速船・フェリーの利便性，通勤，通学，通院の利便性，歩行時の安全性

沖美町：バス利用の利便性，高速船・フェリーの利便性，通勤，通学，通院，買い物の利便性，水害・がけくずれからの安全性，歩行時の安全性

大柿町：高速船・フェリーの利便性，通院の利便性，歩行時の安全性

図 都市環境の現状に対する評価（不満率）



注：実線は全体の値

イ 都市環境の整備等に関する取組の重要度

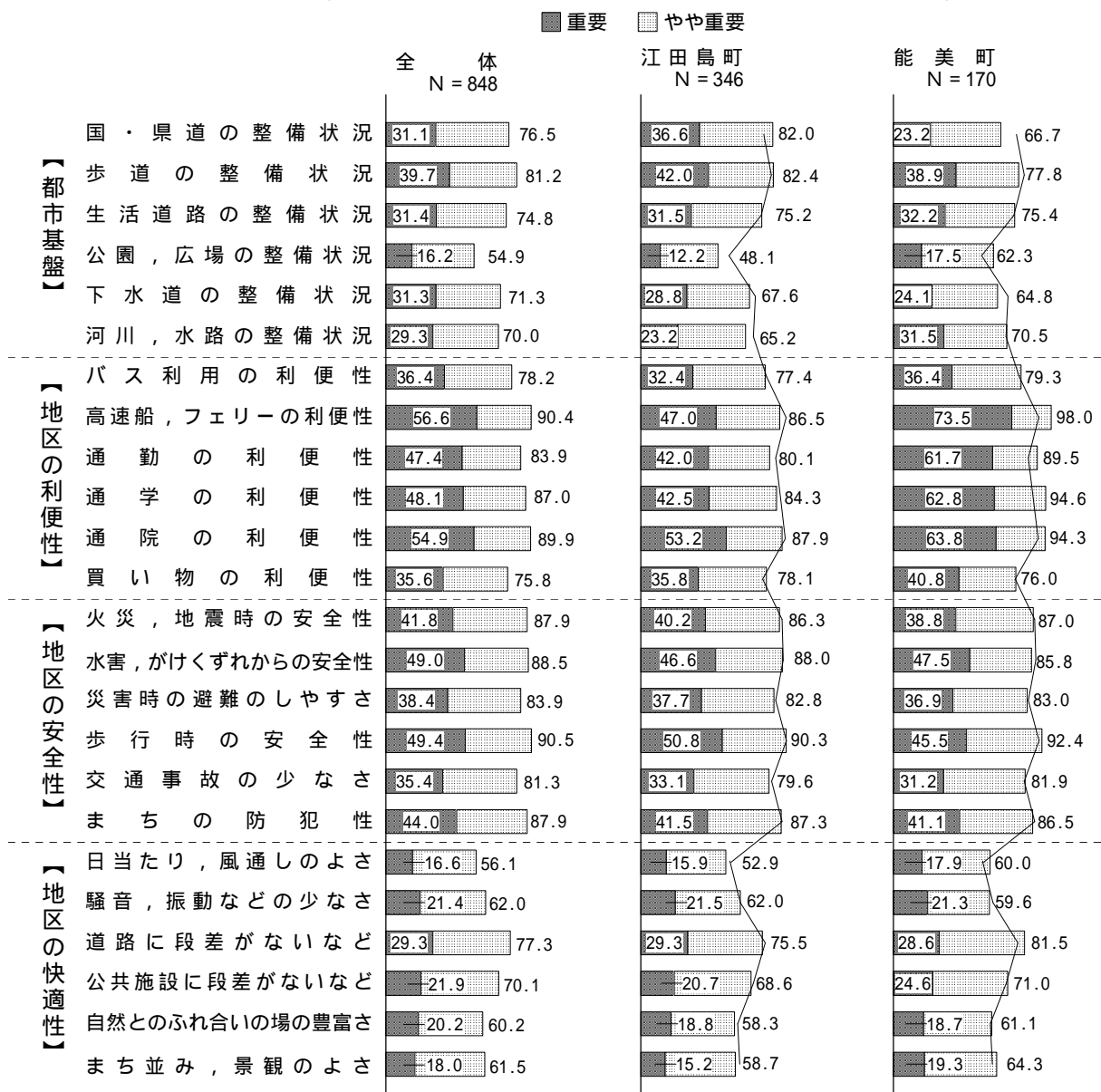
都市環境の整備等に関する取組の重要度について、「重要」又は「やや重要」と答えた人の割合は、全体では「歩行時の安全性」と「高速船，フェリーの利便性」で90%以上と特に高くなっています。

「重要」又は「やや重要」と答えた人の割合が90%以上の項目を地域別にみると、次のとおりです。

江田島町：歩行時の安全性

能美町：高速船・フェリーの利便性，通学，通院の利便性，歩行時の安全性

図 重要度に関する意見
(重要率：「重要」または「やや重要」と答えた人の割合)

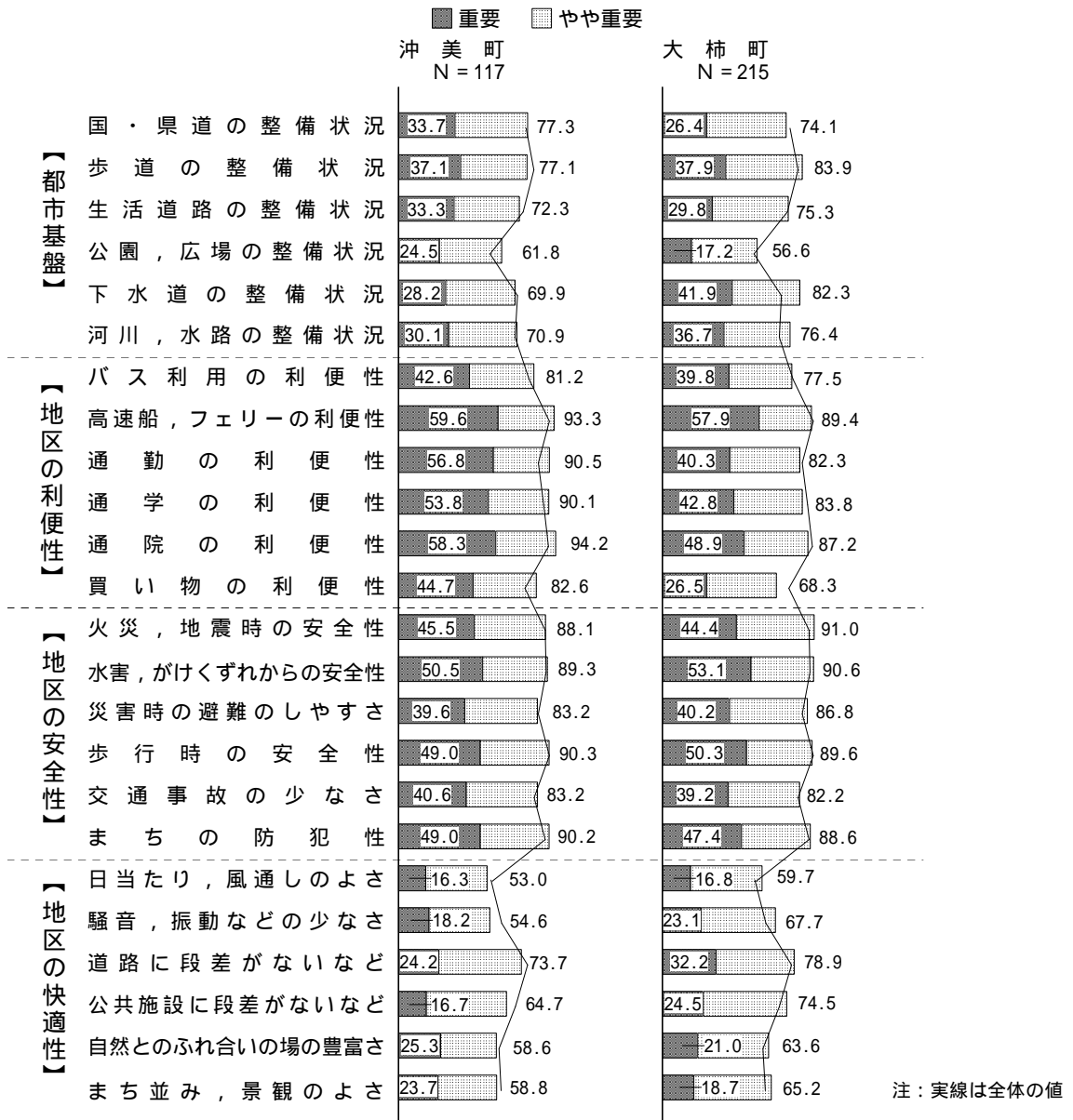


注：実線は全体の値

沖 美 町：高速船・フェリーの利便性，通勤，通学，通院の利便性，歩行時の安全性，まちの防犯性

大 柿 町：火災・地震時の安全性，水害・がけくずれからの安全性

図 重要度に関する意見
 (重要率：「重要」または「やや重要」と答えた人の割合)



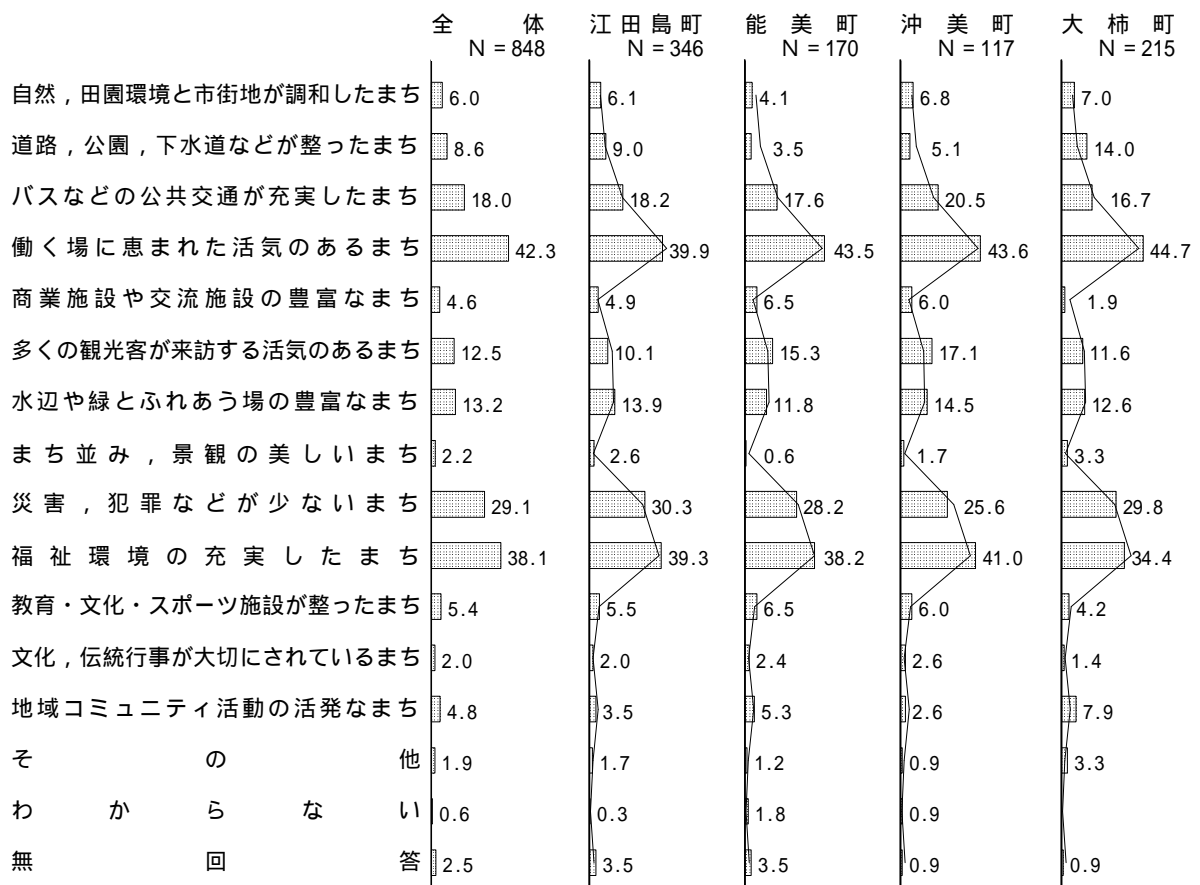
(3) 江田島市の都市づくりに関する意向

ア 江田島市の将来像に関する意向

江田島市の将来像に関する意向は、全体では「働く場に恵まれた活気のあるまち」をあげた人の割合が約42%で最も高く、次いで「福祉環境の充実したまち」約38%、「災害、犯罪などが少ないまち」約29%の順となっています。

地域別にみると、各地域ともこれらの項目が同順位であげられており、将来像に関する共通した意向が示されています。

図 江田島市の将来像に関する意向（複数回答，2項目以内）

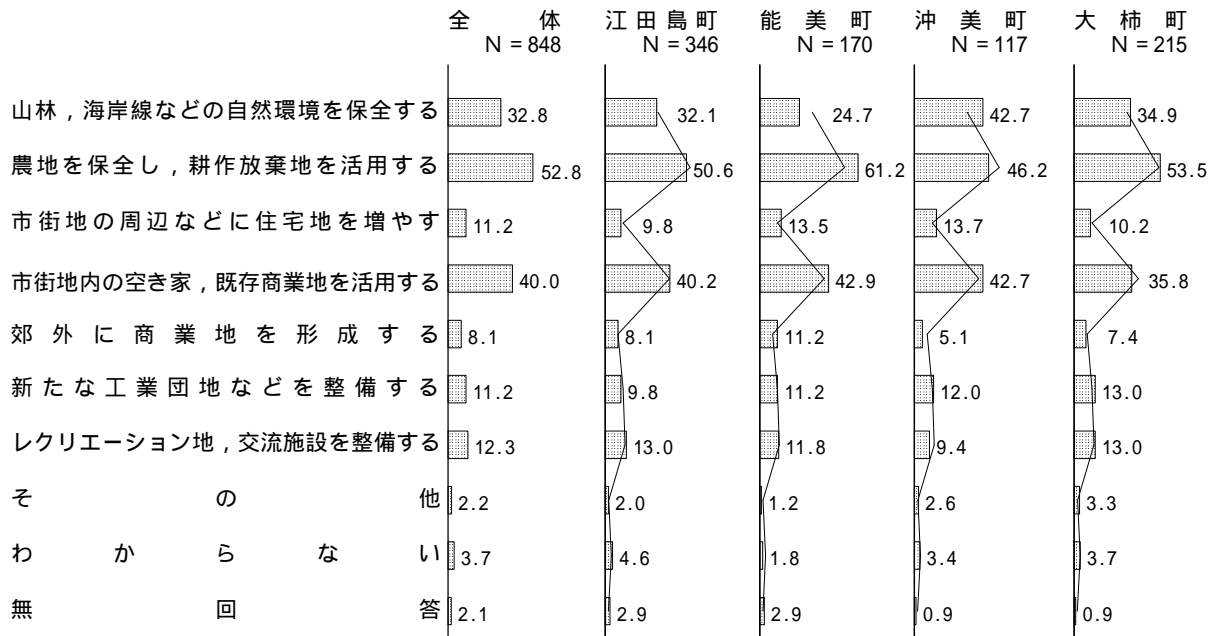


注：実線は全体の値

イ 土地利用に関する意向

土地利用の重要な取組に関する意向は、全体では「農地を保全し、耕作放棄地を活用する」をあげた人の割合が約53%で最も高く、次いで「市街地内の空き家、既存商業地を活用する」40%、「山林、海岸線などの自然環境を保全する」約33%の順となっています。

図 土地利用に関する意向（複数回答，2項目以内）

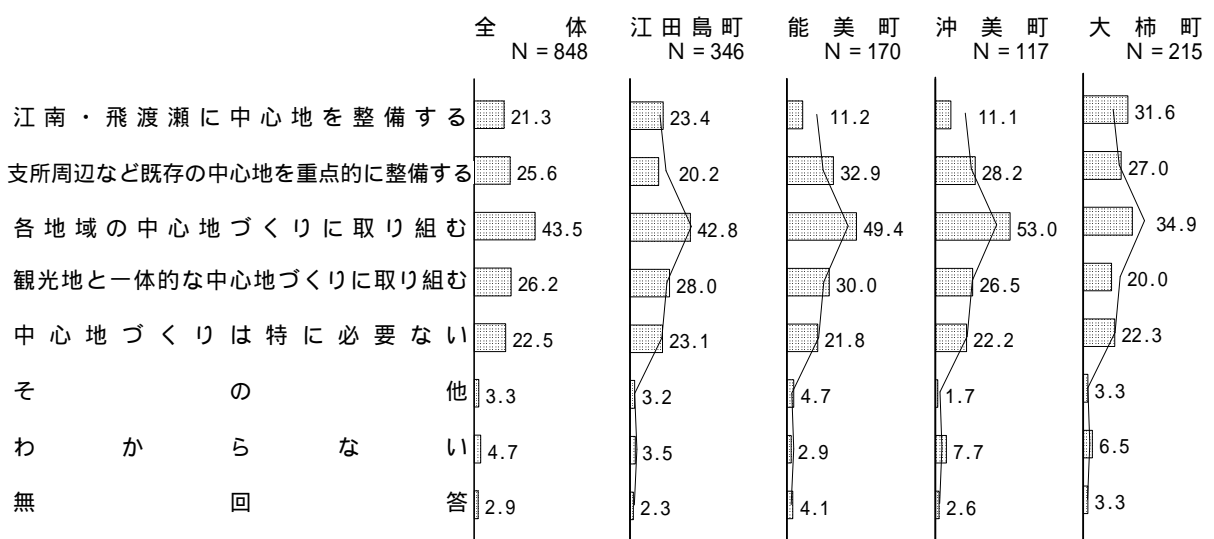


注：実線は全体の値

ウ 中心地の整備に関する意向

商業施設、交流施設などの集積した中心地の整備に関する意向は、全体では「各地域の中心地づくり」をあげた人の割合が約44%で最も高く、次いで「観光地と一体的な中心地づくり」約26%、「支所周辺など既存の中心地の重点的な整備」約26%の順となっています。

図 中心地の整備に関する意向（複数回答，回答数無制限）



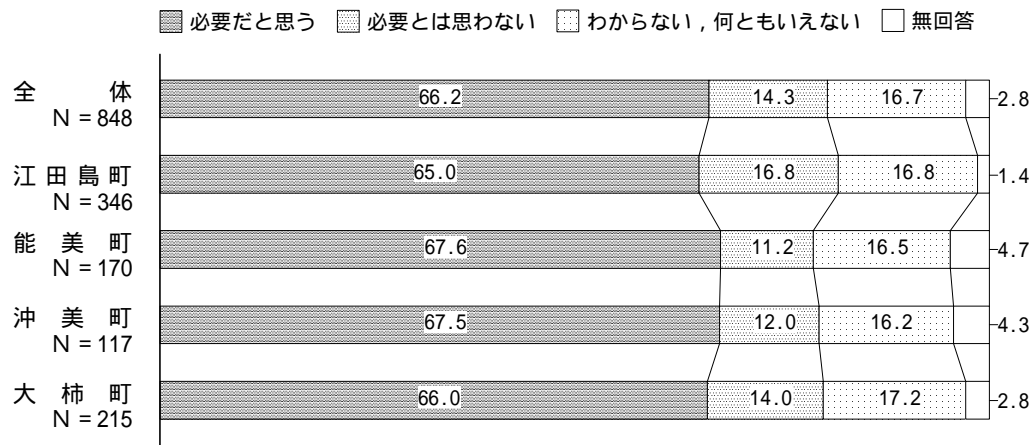
注：実線は全体の値

エ 土地利用規制に関する意向

(7) 自然環境の保全

自然環境の保全のために開発を制限することについて、「必要だと思う」と答えた人の割合は、約66%を占めています。

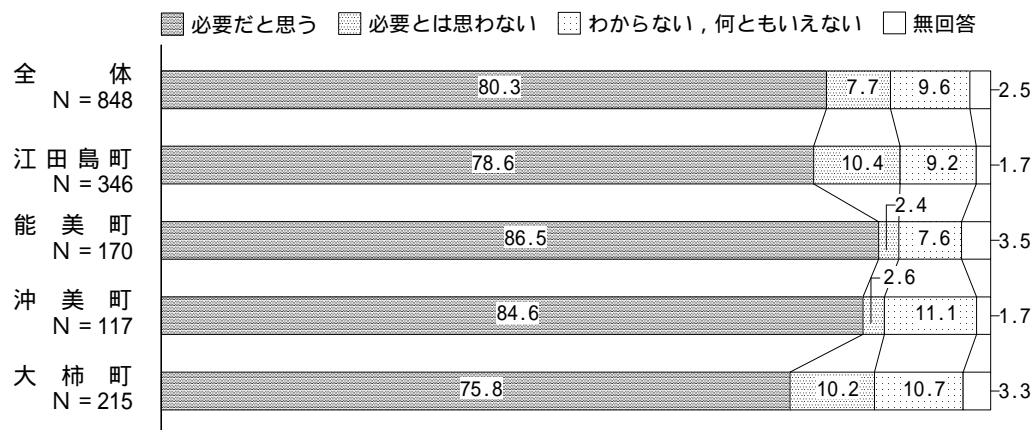
図 自然環境を守るための開発の制限に関する意向



(1) 自然災害の防止

がけくずれなどの災害を防止するために、開発や建築を制限することについて、「必要だと思う」と答えた人の割合は、約80%と大半を占めています。

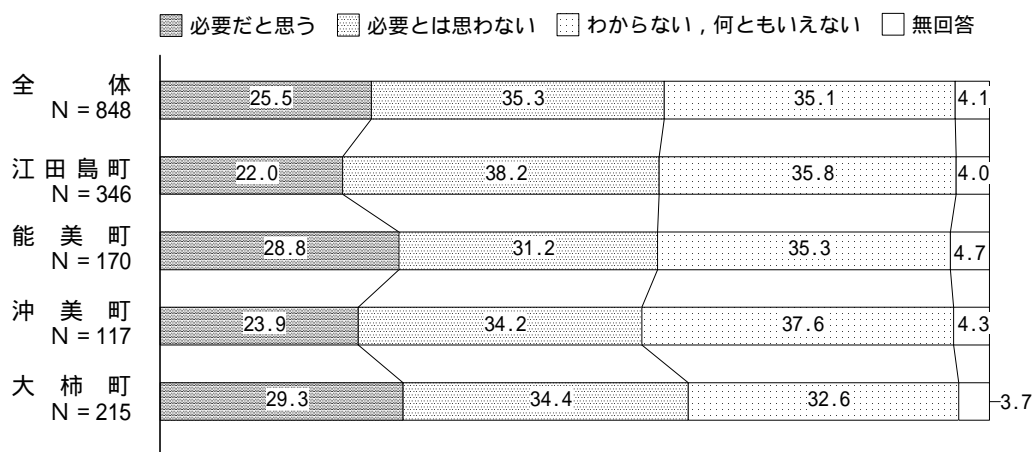
図 自然災害防止のための開発や建築の制限に関する意向



(ウ) 農地の保全

農地を守るために農地転用を制限することについて、「必要だと思う」と答えた人の割合は、約26%と他の項目より低くなっています。

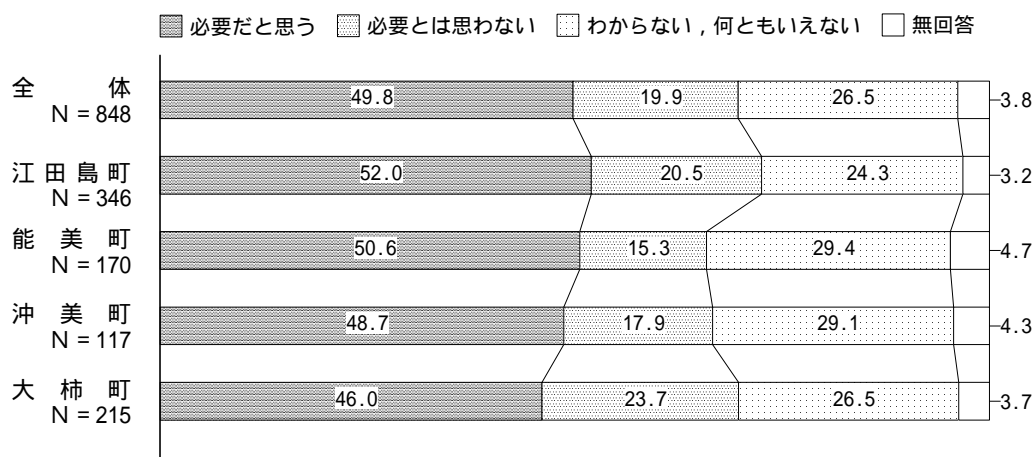
図 農地を守るための農地転用の制限に関する意向



(I) 建築物の用途の混在化の防止

住宅、店舗などと工場との混在を防止することについて、「必要だと思う」と答えた人の割合は、約50%と半数を占めています。

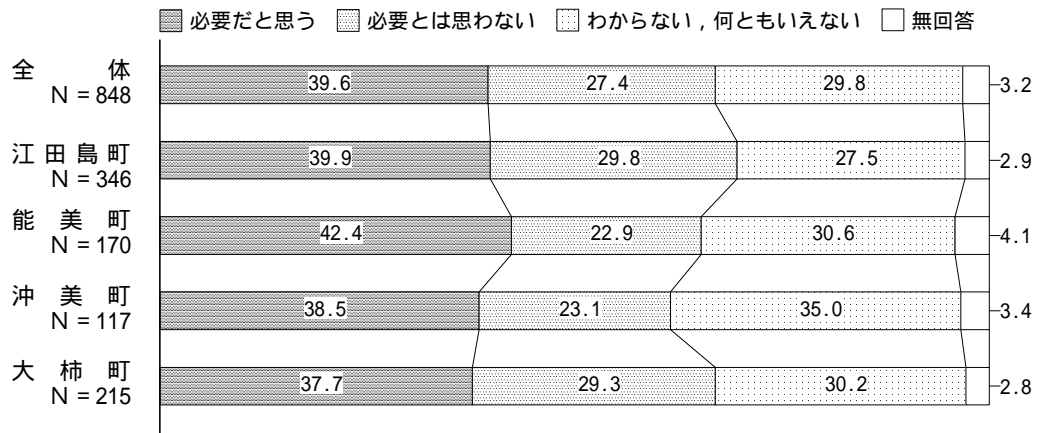
図 建築物の用途の混在を防ぐための建築の制限に関する意向



(オ) 道路の整備されていない土地の建築制限

道路の整備されていない土地での建築を制限することについて、「必要だと思う」と答えた人の割合は、約40%を占めています。

図 道路の整備されていない敷地での建築の制限に関する意向

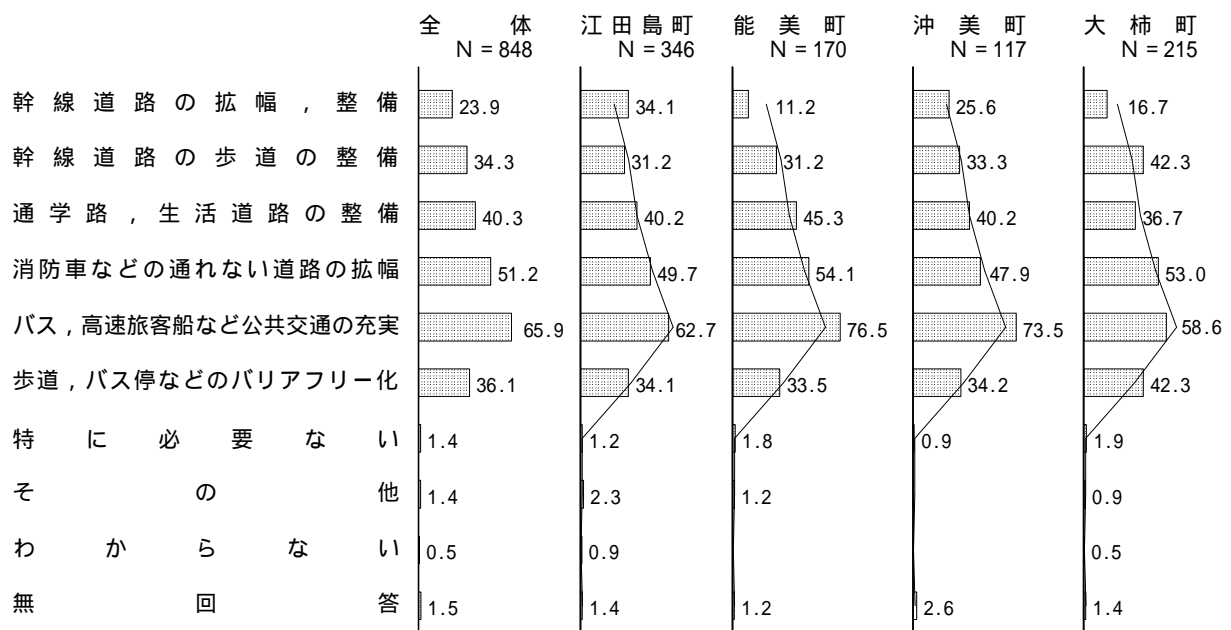


オ 部門別の取組に関する意向

(ア) 道路・交通対策

道路・交通対策については、全体では「バス、高速旅客船などの公共交通の充実」をあげた人の割合が約66%で最も高く、次いで「消防車などの通れない道路の拡幅」約51%、「通学路、生活道路の整備」約40%などの順となっています。

図 道路・交通対策に関する意向（複数回答，3項目以内）

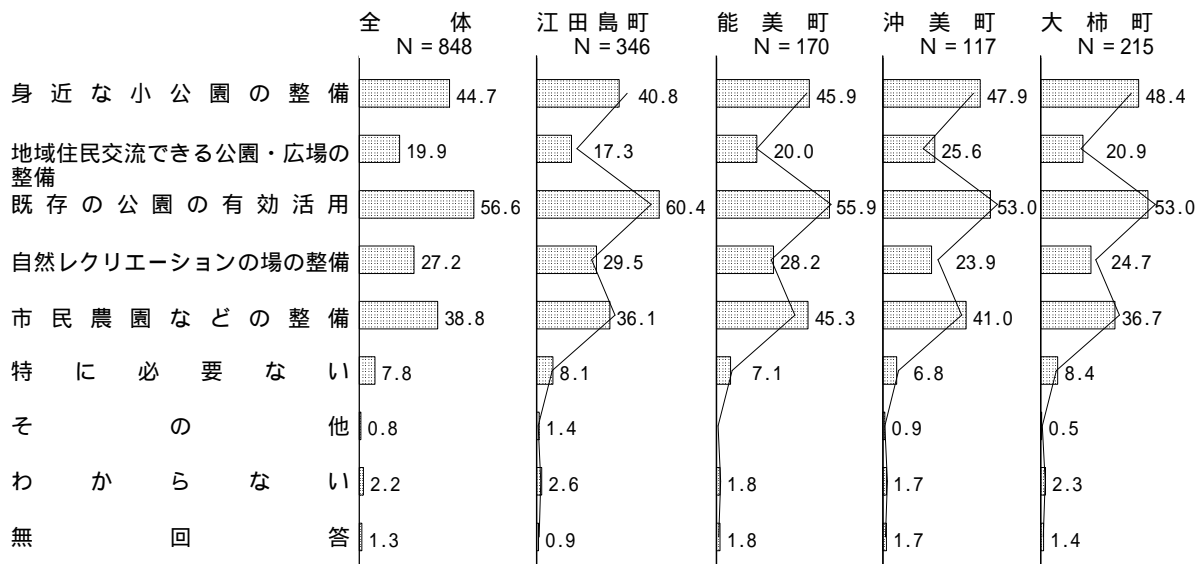


注：実線は全体の値

(イ) 公園・広場等の整備

公園・広場等の整備については、全体では「既存の公園の有効活用」をあげた人の割合が約57%で最も高く、次いで「身近な小公園の整備」約45%、「市民農園などの整備」約39%などの順となっています。

図 公園・広場等の整備に関する意向（複数回答，3項目以内）



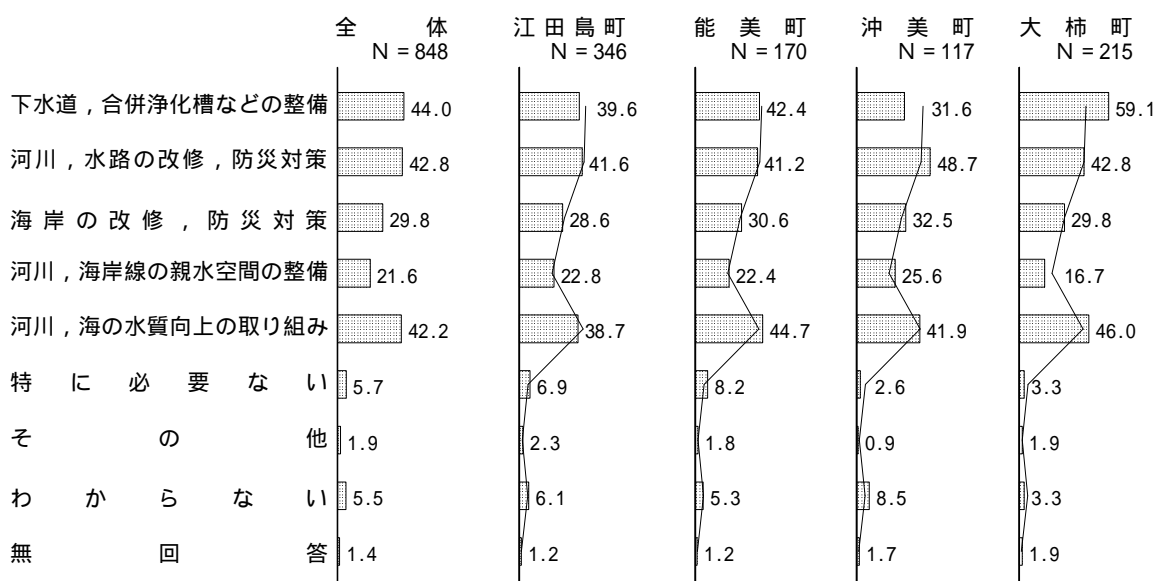
注：実線は全体の値

(ウ) 下水道，河川・海岸の整備

下水道，河川・海岸の整備については、全体では「下水道，合併浄化槽などの整備」をあげた人の割合が44%で最も高く、次いで「河川，水路の改修，防災対策」約43%、「河川，海の水質向上の取り組み」約42%などの順となっています。

地域別には、大柿町で「下水道，合併浄化槽などの整備」をあげた人の割合が約59%と高くなっています。

図 下水道，河川・海岸の整備に関する意向（複数回答，3項目以内）

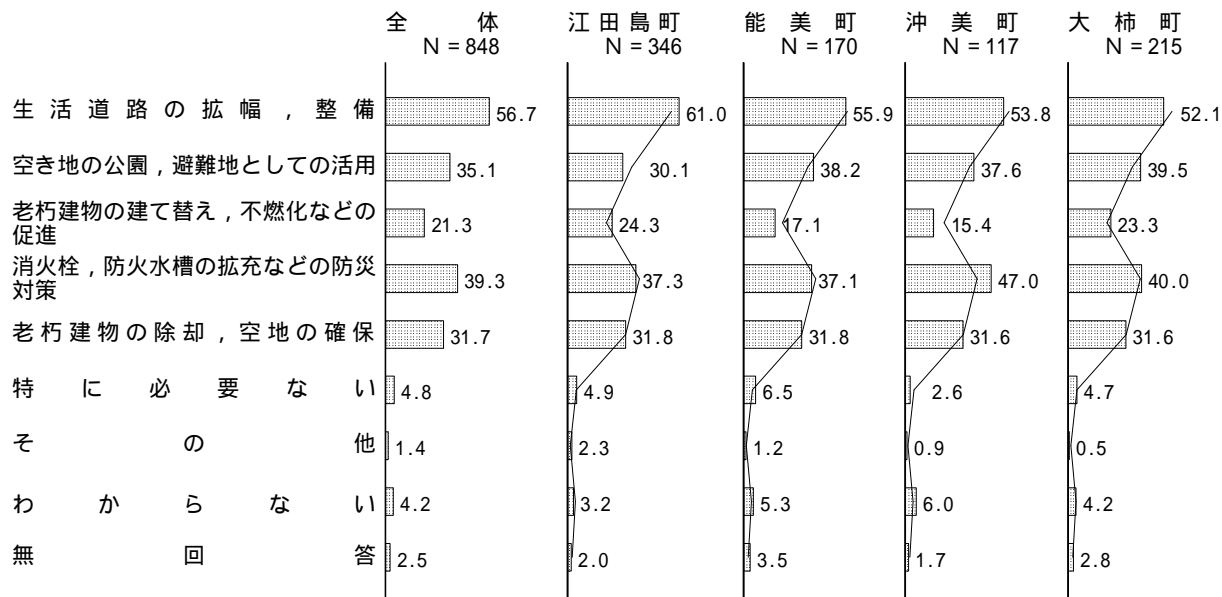


注：実線は全体の値

(I) 密集市街地における住環境の向上対策

密集市街地における住環境の向上対策については、全体では「生活道路の拡幅，整備」をあげた人の割合が約57%で最も高く，次いで「消火栓，防火水槽の拡充などの防災対策」約39%，「空き地の公園，避難地としての活用」約35%などの順となっています。

図 密集市街地における住環境の向上対策に関する意向（複数回答，3項目以内）

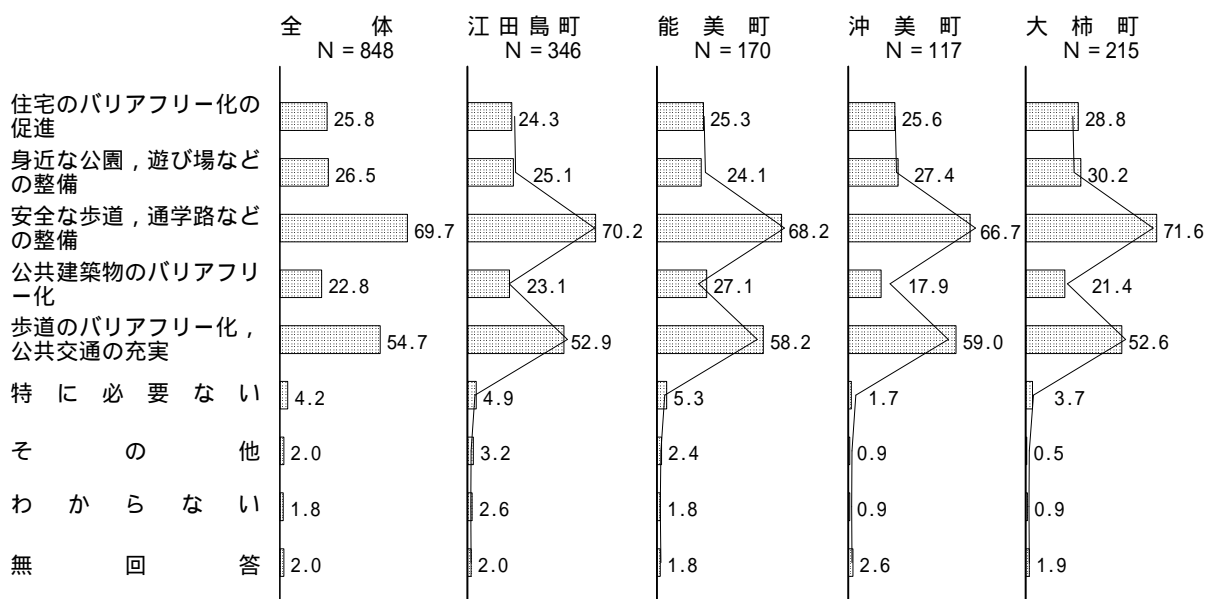


注：実線は全体の値

(II) 高齢者等が暮らしやすい都市づくり

子ども達や高齢者，障害者が暮らしやすい都市づくりについては，全体では「安全な歩道，通学路などの整備」をあげた人の割合が約70%と特に高く，次いで「歩道のバリアフリー化，公共交通の充実」が約55%と高くなっています。

図 高齢者等が暮らしやすい都市づくりに関する意向（複数回答，3項目以内）

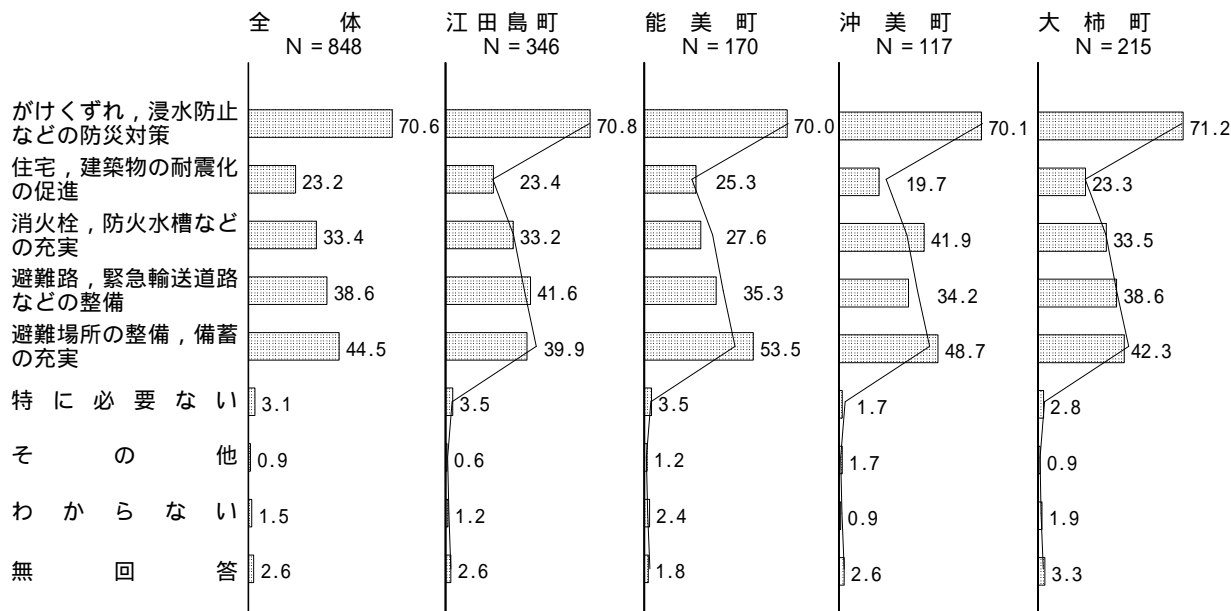


注：実線は全体の値

(カ) 災害の少ない都市づくり

災害の少ない都市づくりについては、全体では「がけくずれ、浸水防止などの防災対策」をあげた人の割合が約71%で特に高く、次いで「避難場所の整備、備蓄の充実」約45%、「避難路、緊急輸送道路などの整備」約39%などの順となっています。

図 災害の少ない都市づくりに関する意向（複数回答，3項目以内）

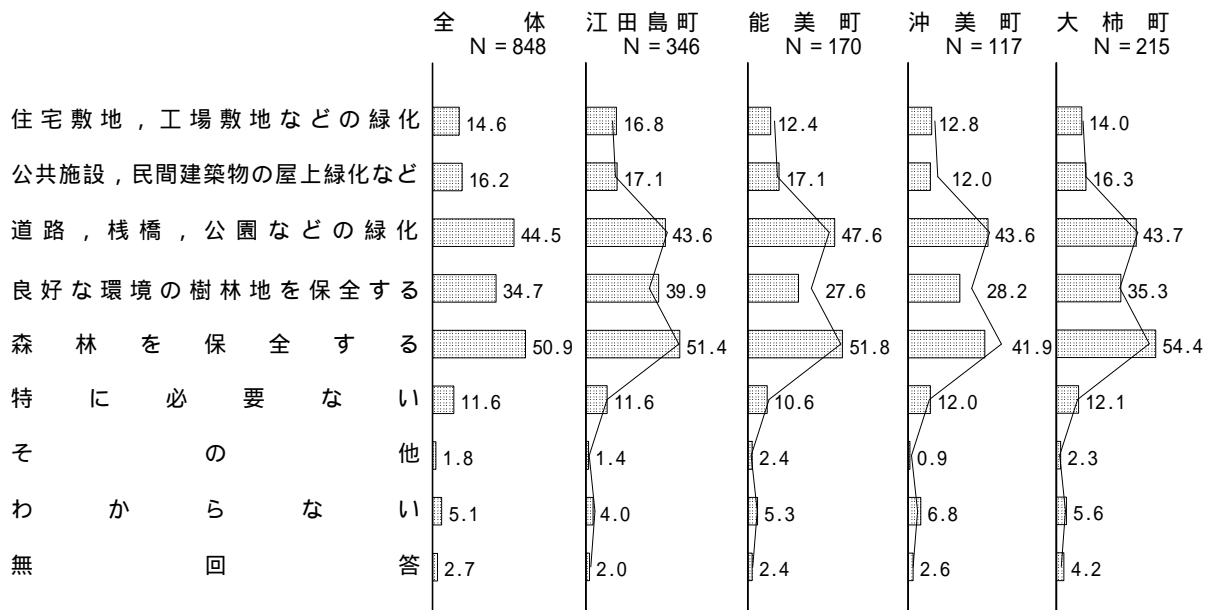


注：実線は全体の値

(キ) 都市の緑化，環境対策

都市の緑化，環境対策については、全体では「森林を保全する」をあげた人の割合が約51%で最も高く、次いで「道路、棧橋、公園などの緑化」約45%、「良好な環境の樹林地を保全する」約35%などの順となっています。

図 都市の緑化，環境対策などに関する意向（複数回答，3項目以内）

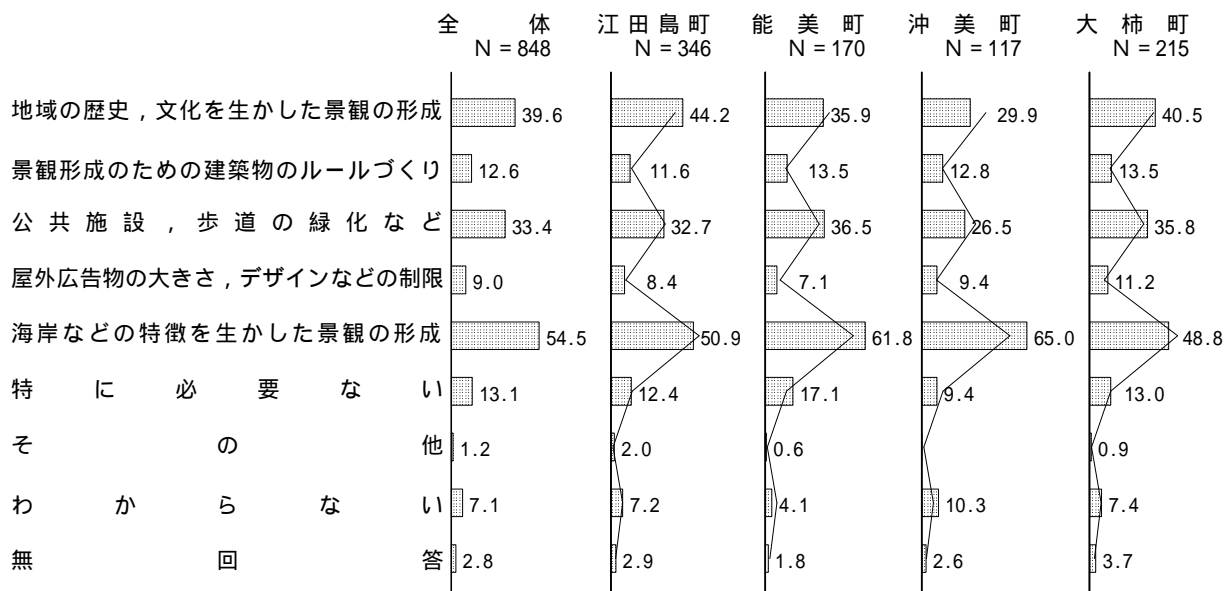


注：実線は全体の値

(ク) 良好なまち並み，景観づくり

良好なまち並み，景観づくりについては，全体では「海岸などの特徴を生かした景観の形成」をあげた人の割合が約55%で最も高く，次いで「地域の歴史，文化を生かした景観の形成」約40%，「公共施設，歩道の緑化など」約33%などの順となっています。

図 良好なまち並み，景観づくりに関する意向（複数回答，3項目以内）



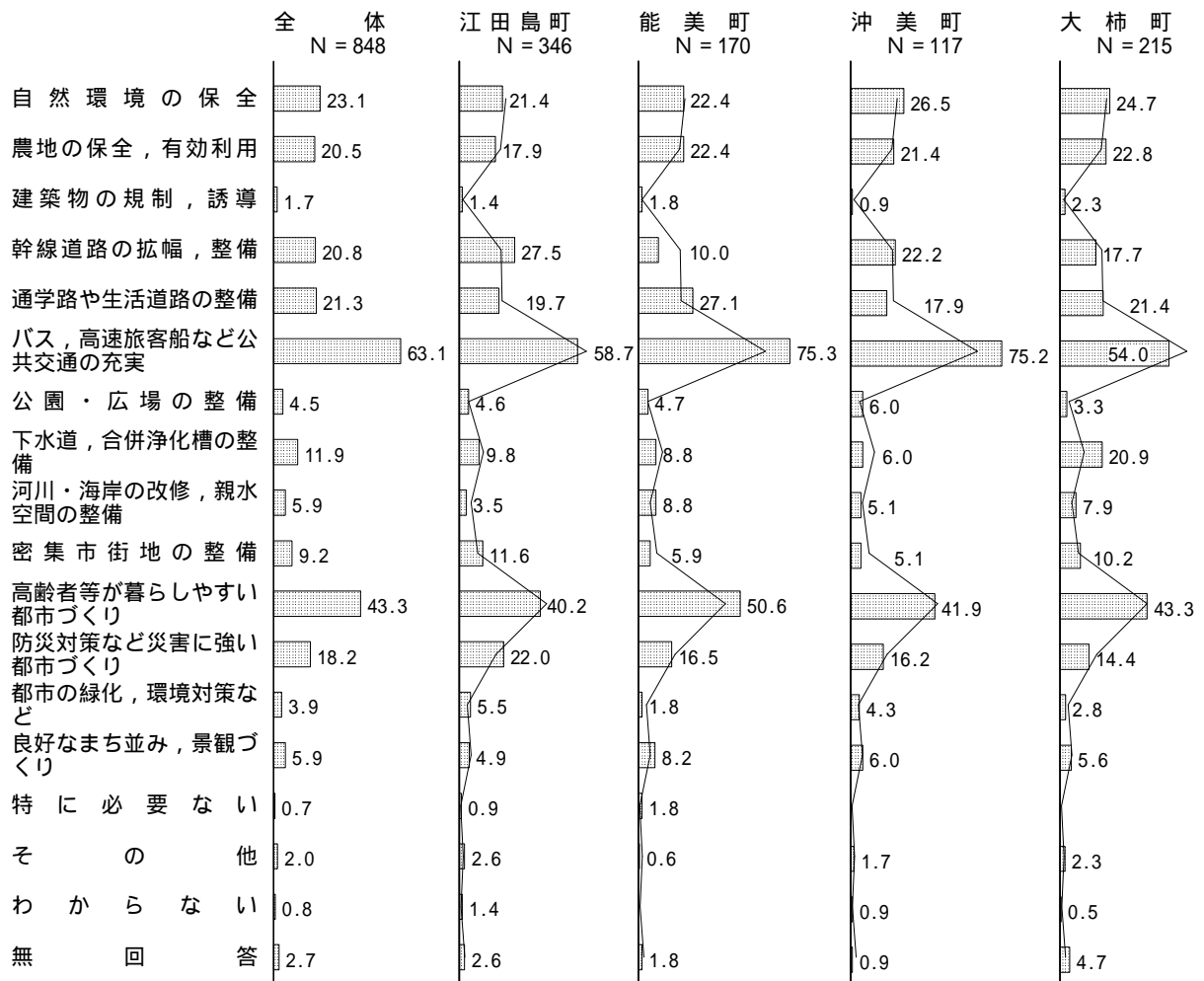
注：実線は全体の値

カ 都市づくりに係る重点的な取組に関する意向

都市づくりに係る重要な取り組みについては、全体では「バス、高速旅客船など公共交通の充実」をあげた人の割合が約63%で特に高く、次いで「高齢者等（子育て世帯、高齢者、障害者）が暮らしやすい都市づくり」が約43%で高くなっています。

また、これらに次いで、「自然環境の保全」（約23%）、「通学路や生活道路の整備」（約21%）、「幹線道路の拡幅、整備」（約21%）、「農地の保全、有効利用」（約21%）などの項目をあげた人の割合が比較的高くなっています。

図 都市づくりに係る重要な取組に関する意向（複数回答，3項目以内）



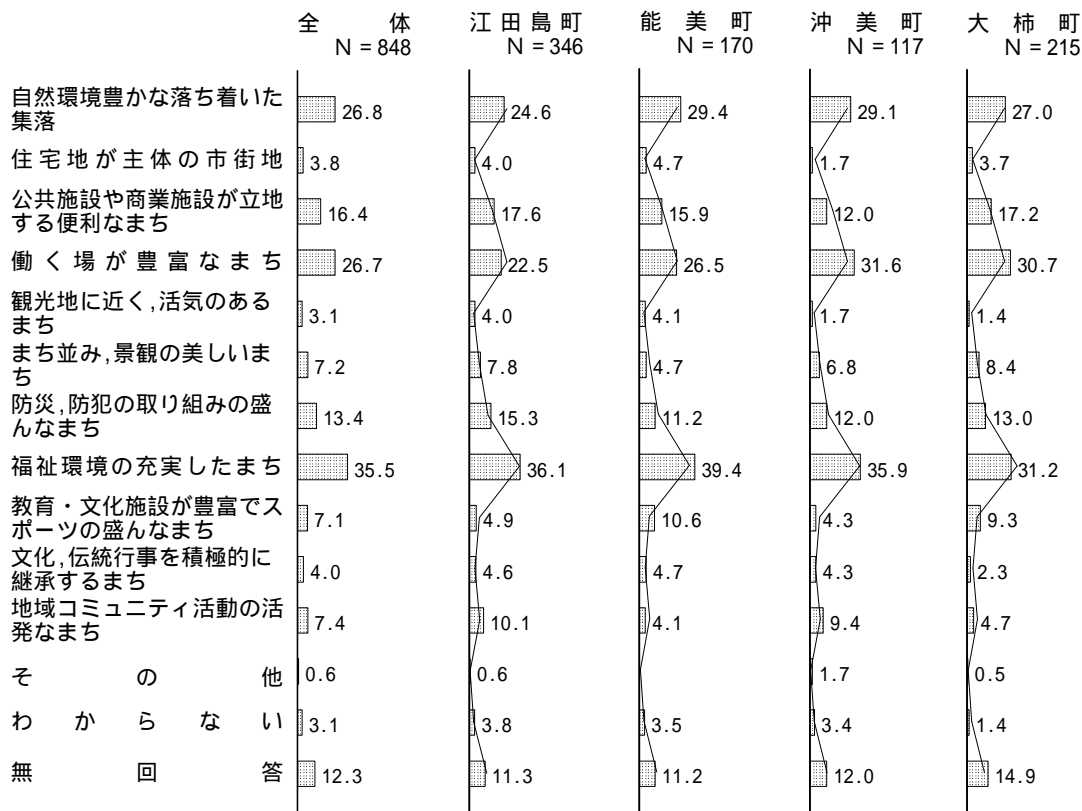
注：実線は全体の値

(4) 地域のまちづくりに関する意向

ア 地域の望ましい将来像

地域（小学校区の範囲）の望ましい将来像については、全体では「福祉環境の充実したまち」をあげた人の割合が約36%で最も高く、次いで「自然環境豊かな落ち着いた集落」約27%、「働く場が豊富なまち」約27%などの順となっています。

図 地域の望ましい将来像（複数回答，2項目以内）



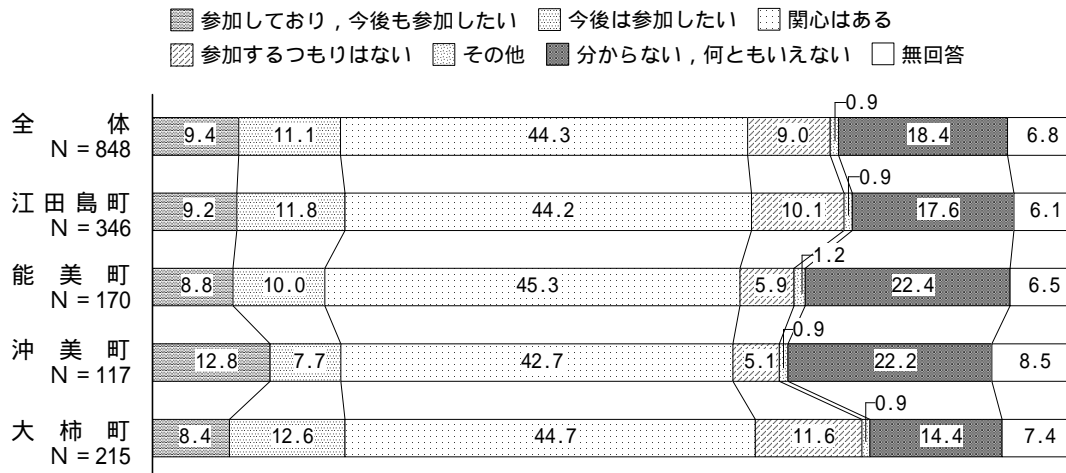
注：実線は全体の値

イ まちづくり活動への参加状況と意向

まちづくり活動への参加状況と今後の参加意向については、「参加しており、今後も参加したい」と答えた人の割合が約9%、「今後は参加したい」約11%で、参加意向のある人は約2割となっています。

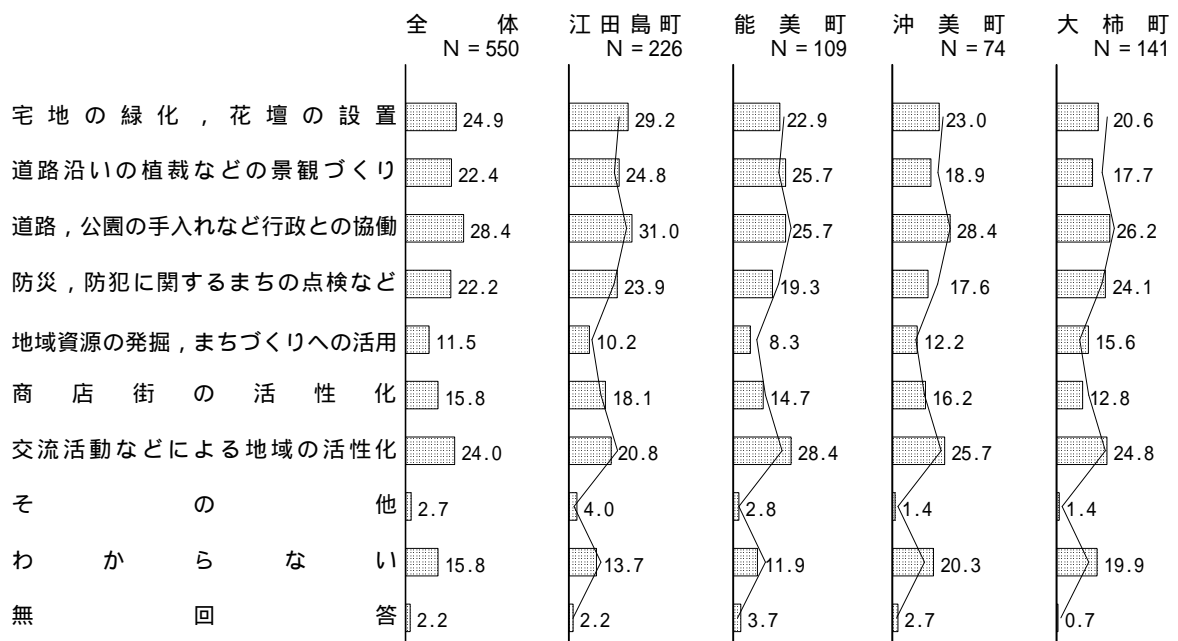
また「関心はある」と答えた人の割合は約44%と高くなっています。

図 まちづくり活動への参加状況と意向



まちづくり活動に「参加しており、今後も参加したい」「今後は参加したい」「関心はある」と答えた人の参加したい活動については、全体では「道路、公園の手入れなど行政との協働」をあげた人の割合が約28%で最も高いほか、「宅地の緑化、花壇の設置」「道路沿いの植栽などの景観づくり」「防災、防犯に関するまちの点検など」「交流活動などによる地域の活性化」などで20%を超えており、様々な活動に対する参加意欲や関心が持たれています。

図 参加したいまちづくり活動の内容
(参加意向又は関心のある人、複数回答、回答数無制限)



注：実線は全体の値